

海外投資適格社債ファンド

<愛称：IGファンド>

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外投資適格社債マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行する社債および各種債券に投資を行い、長期的に安定した収益の確保を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年5月16日～2019年11月15日

第192期	決算日：2019年6月17日	
第193期	決算日：2019年7月16日	
第194期	決算日：2019年8月15日	
第195期	決算日：2019年9月17日	
第196期	決算日：2019年10月15日	
第197期	決算日：2019年11月15日	
第197期末 (2019年11月15日)	基準価額	6,879円
	純資産総額	1,896百万円
第192期～ 第197期	騰落率	3.1%
	分配金合計	78円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

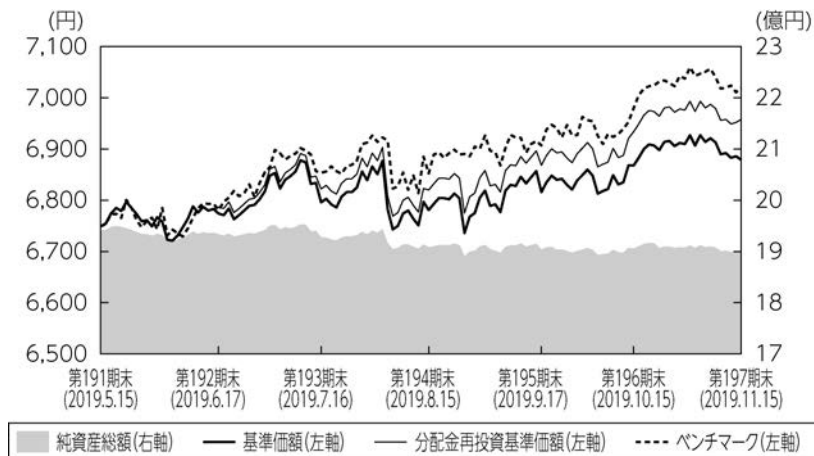
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第192期首 : 6,749円
 第197期末 : 6,879円
 (既払分配金78円)
 騰落率 : 3.1%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (F T S E 世界 B I G 債券インデックス社債セクター (除く日本、円ベース)) は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

海外投資適格社債マザーファンドへの投資を通じて本邦通貨建公社債を除く世界各国の公社債に投資を行った結果、保有債券の価格上昇や利息収入を受けて基準価額 (分配金再投資ベース) が上昇しました。

(上昇要因)

国債利回りの低下などを受けた保有債券の値上がり。
 保有債券の利息収入。

(下落要因)

リスク回避の動きなどを背景とした円高。

1 万口当たりの費用明細

項目	第192期～第197期		項目の概要
	(2019年5月16日 ～2019年11月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	46円	0.681%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,823円です。
(投信会社)	(22)	(0.327)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(22)	(0.327)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.034	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.030)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	49	0.714	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

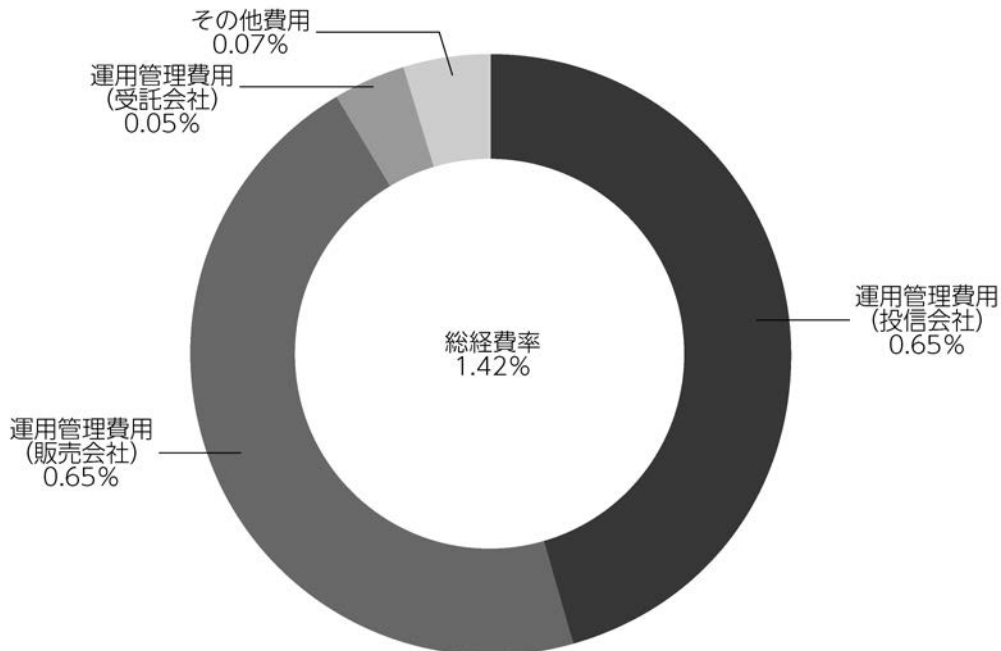
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.42%です。



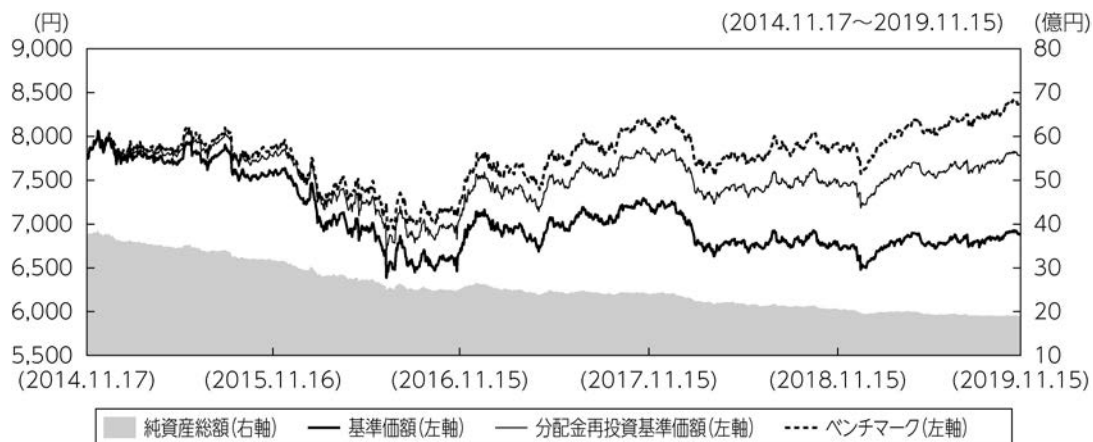
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E世界B I G債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース））は、2014年11月17日の基準価額に合わせて指数化しています。

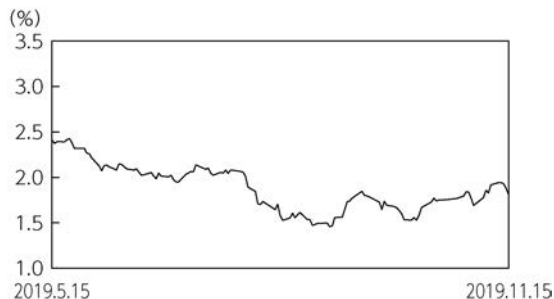
		2014年11月17日 期首	2015年11月16日 決算日	2016年11月15日 決算日	2017年11月15日 決算日	2018年11月15日 決算日	2019年11月15日 決算日
基準価額（分配落）	(円)	7,765	7,553	6,671	7,226	6,767	6,879
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	216	196	156	156	156
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	0.0	△9.1	10.7	△4.2	4.0
ベンチマークの騰落率	(%)	—	1.3	△7.8	12.3	△2.8	5.7
純資産総額	(百万円)	3,745	3,152	2,505	2,405	2,058	1,896

投資環境

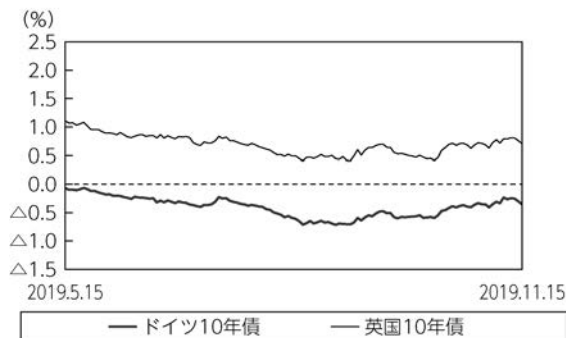
欧米債券市場

欧米債券市場は、景気の減速懸念を受けた米国や欧州の金融緩和姿勢を背景に堅調な推移となりました。当作成期においては、FRB（米国連邦準備制度理事会）が複数回に亘り利下げを実施したほか、ECB（欧州中央銀行）はマイナス金利の深堀りに加え、債券買い入れの再開などを決定しました。

<米10年国債利回りの推移>



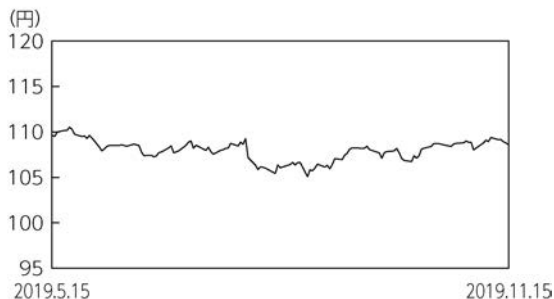
<独、英10年国債利回りの推移>



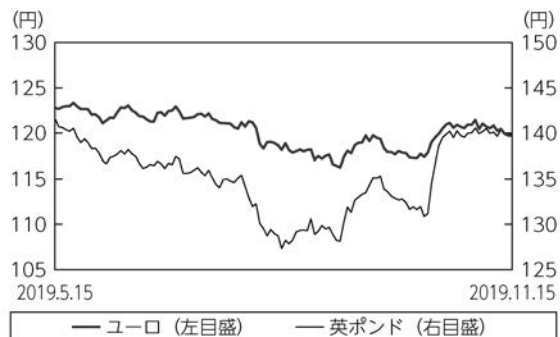
為替市場

為替市場は、世界的な景気の先行きに対する懸念が強まったことなどを受けてリスク回避の動きから円が対ユーロ、対英ポンド、対米ドルで強含む展開となりました。特にユーロは景気が低迷する中でマイナス金利を深堀りしたこともあり、比較的对円での下落幅が大きくなりました。

<米ドルの対円レートの推移>



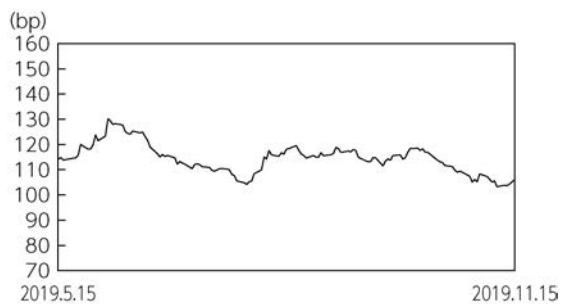
<ユーロ・英ポンドの対円レートの推移>



社債市場

社債市場については、米国、欧州が金融緩和を強化したことなどから堅調な推移となりました。こうした環境の下、対国債スプレッドは縮小しました。

<ベンチマークの信用スプレッドの推移>



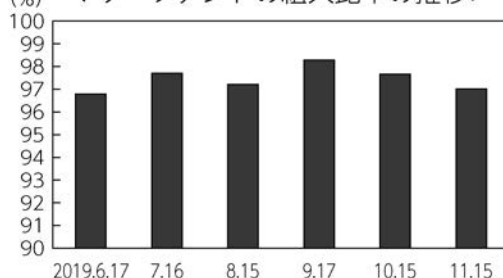
※信用スプレッドとは、ベンチマークと国債との利回り格差です。
※100bp=1%

ポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドの運用においては、海外投資適格社債マザーファンドの高位組入れを継続しました。

＜当ファンドの海外投資適格社債マザーファンドの組入比率の推移＞

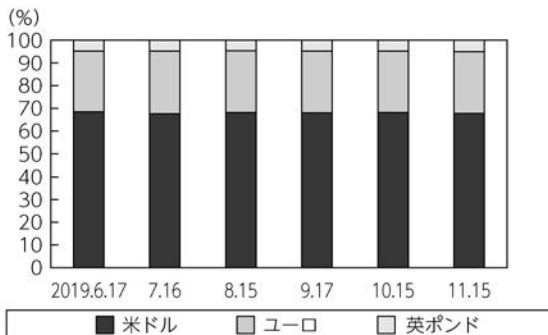


●海外投資適格社債マザーファンド

海外投資適格社債マザーファンドの運用状況は以下の通りとなりました。

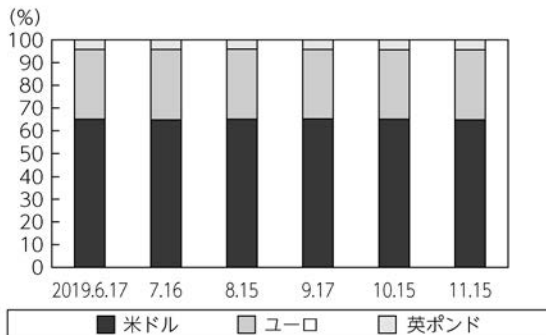
- ①セクターおよびクレジット戦略については、大手金融セクターを中心に投資を行いました。信用格付け別のウエイトで見ますと、スプレッドの拡大の可能性も考慮して、ベンチマークであるFTSE世界BIG債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）に対してA格以上の格付けの比率を高めとしました。
- ②デュレーション（金利感応度）については、米国の債券利回りが中長期的に上昇すると想定し、ベンチマークに対してやや短めの水準としました。
- ③通貨配分は、作成期間を通じて米ドルをオーバーウエイトとしました。
- ④作成期末時点におけるマザーファンドの債券組入比率は99%程度、マザーファンドの債券ポートフォリオは、平均クーポン3.8%程度、平均最終利回り2.2%程度、平均直接利回り3.4%程度、平均残存年数8.0年程度、平均デュレーション6.3年程度としております。（平均最終利回りはキャッシュを含めて計算しています。）

<組入債券の通貨別構成比の推移 (マザーファンド) >



※比率は、債券時価総額に対する割合。

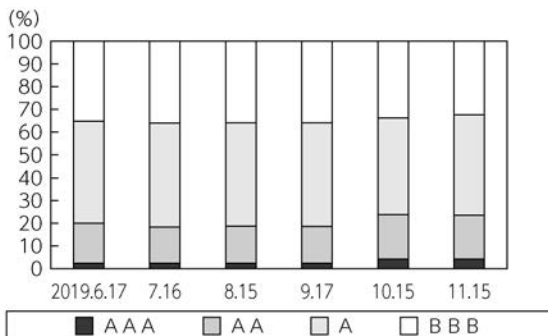
<組入債券の通貨別構成比の推移 (ベンチマーク) >



※通貨別構成比を100%として算出しています。

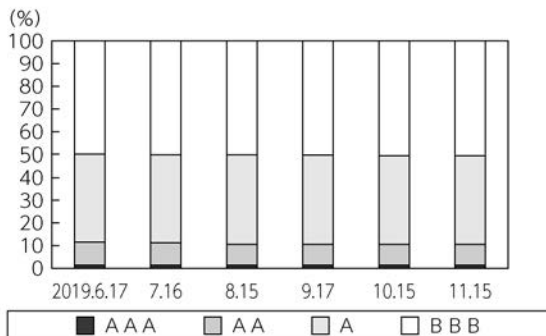
※ベンチマーク：F T S E世界B I G債券インデックス社債セクター (除く日本)。

<組入債券の格付け別構成比の推移 (マザーファンド) >



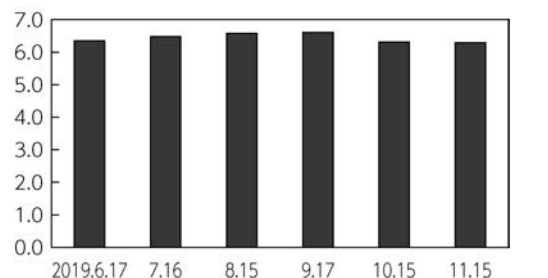
※比率は、債券時価総額に対する割合。

<組入債券の格付け別構成比の推移 (ベンチマーク) >



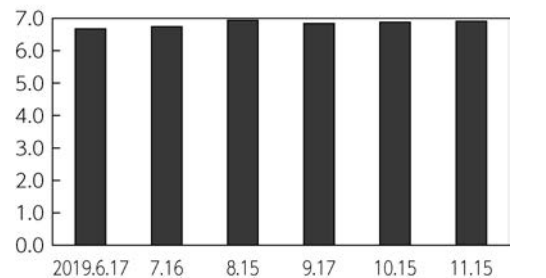
※ベンチマーク：F T S E世界B I G債券インデックス社債セクター (除く日本)。

<デュレーションの推移 (マザーファンド) >



※永久債は、投資家から見た合理的な債券の償還日「線上償還可能日」を基に計算しています。

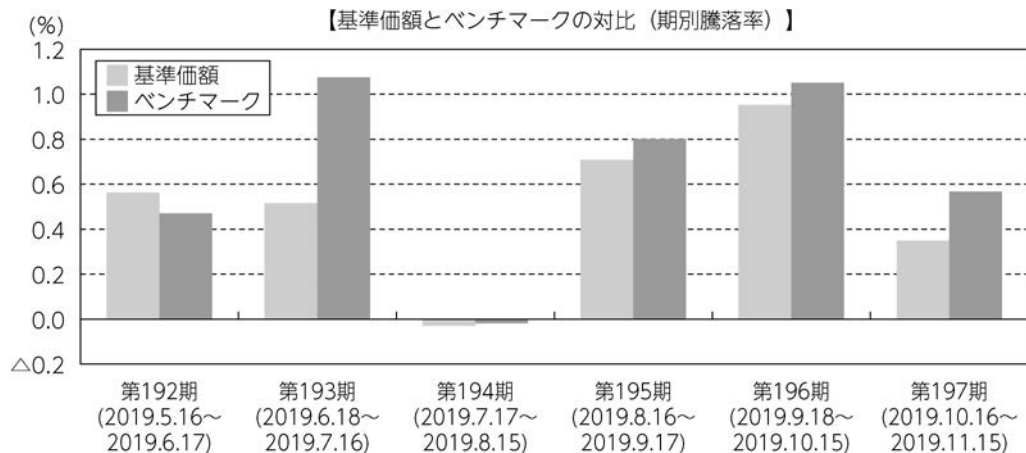
<デュレーションの推移 (ベンチマーク) >



※永久債は、投資家から見た合理的な債券の償還日「線上償還可能日」を基に計算しています。

ベンチマークとの差異について

作成期間における当ファンド及びベンチマークであるFTSE世界BIG債券インデックス社債セクター(除く日本、円ベース)とのパフォーマンスの差異は以下の通りです。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(単位：%)

期	差異	基準価額騰落率	ベンチマーク騰落率	要因
192期	+0.09	+0.56	+0.47	ベンチマークとの為替評価差でプラスとなりました。
193期	△0.56	+0.52	+1.07	米ドル建て債券部分のセクター効果でマイナスとなりました。
194期	△0.01	△0.03	△0.02	ベンチマークとほぼ同程度のパフォーマンスとなりました。
195期	△0.09	+0.71	+0.80	信託報酬等でマイナスとなりました。
196期	△0.10	+0.95	+1.05	信託報酬等でマイナスとなりました。
197期	△0.22	+0.35	+0.57	米ドル建て債券部分のセクター効果、米ドルの通貨のアロケーション効果でマイナスとなりました。

※基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

※差異=基準価額騰落率-ベンチマーク騰落率。

※要因は、当ファンドが投資している海外投資適格社債マザーファンドの運用状況とあわせて記載しております。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期	第197期
	2019年5月16日 ~2019年6月17日	2019年6月18日 ~2019年7月16日	2019年7月17日 ~2019年8月15日	2019年8月16日 ~2019年9月17日	2019年9月18日 ~2019年10月15日	2019年10月16日 ~2019年11月15日
当期分配金（税引前）	13円	13円	13円	13円	13円	13円
対基準価額比率	0.19%	0.19%	0.19%	0.19%	0.19%	0.19%
当期の収益	13円	13円	10円	13円	13円	13円
当期の収益以外	-円	-円	2円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	125円	127円	124円	128円	134円	136円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

市況見通し

世界経済は、米国では、米中間の貿易問題など懸念材料はあるものの、雇用環境が比較的安定推移しているほか、個人消費が堅調なことから、底堅い景気動向を想定します。また、FRBの金融緩和姿勢も景気の下支えになると考えています。欧州に関しては、引き続き景気の先行き不透明感が強い状況が継続しており、ECBの金融緩和の効果が注目されます。

債券市場に関しては、FRB、ECBともに金融緩和政策を実施していますが、米国を中心に依然として底堅い景気動向が窺えることから市場金利が上昇する可能性があります。また、投資適格社債に関しては、割高感がやや窺えるものの、財務状況が安定していると考えられるほか、国債と比較して高い利回りが享受できることなどから一定の投資家需要は継続し、底堅い推移になると見込んでいます。今後の対国債スプレッドは、政治動向に加え、景気動向や金融政策、投資家のリスク選好の度合いなどの諸要因を睨んだ推移を予想しています。

為替市場は、米ドルは金利差や景気格差などを背景に欧州通貨に対して強含む動きを想定しています。円に関しては、米中の貿易問題の行方などを睨んだ投資家のリスク許容度を反映して短期的に値動きの荒い展開を想定しています。

運用方針

●当ファンド

今後も海外投資適格社債マザーファンドへの投資を継続し、投資信託財産の成長を目指して参ります。

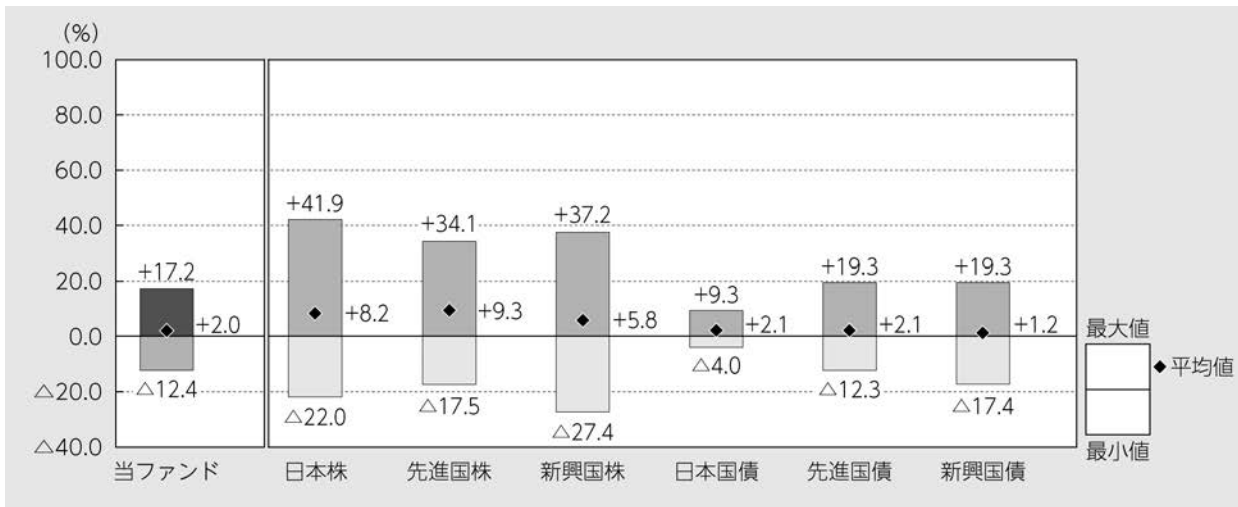
●海外投資適格社債マザーファンド

底堅い米国景気が見込まれることから、デュレーションに関してはベンチマークに対して短期化した水準を継続します。投資銘柄に関しては財務状況の安定している企業を選好する方針です。また、新規発行市場および流通市場の双方において、魅力的な投資機会を積極的に活用していく方針です。通貨配分については、現状程度を継続します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	原則、無期限です。	
運用方針	ベンチマークであるFTSE世界BIG債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）を上回る投資成果を目指します。	
主要投資対象	海外投資適格社債ファンド	海外投資適格社債マザーファンドを通じて、本邦通貨建公社債を除く世界各国の社債および各種債券を主要投資対象とします。
	海外投資適格社債マザーファンド	本邦通貨建公社債を除く世界各国の社債および各種債券を主要投資対象とします。
運用方法	海外投資適格社債マザーファンドを通じて、主として世界各国の社債に投資し、ベンチマークであるFTSE世界BIG債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）を上回る投資成果を目指します。 実質的な外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 公社債の実質組入比率については原則として高位を保ちますが、資金動向、市場動向によっては上記のような運用ができない可能性があります。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、上記分配対象収益範囲のうち原則として利息収入相当部分とします。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年11月～2019年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2019年11月15日現在)

◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

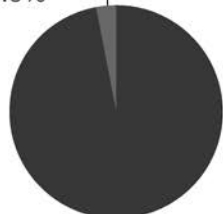
	第197期末
	2019年11月15日
海外投資適格社債マザーファンド	97.0%
その他	3.0

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

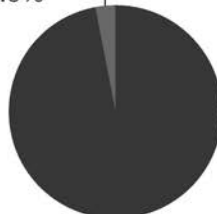
その他
3.0%



親投資信託受益証券
97.0%

◆国別配分

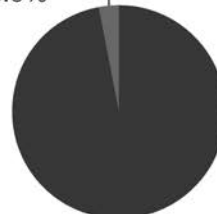
その他
3.0%



日本
97.0%

◆通貨別配分

その他
3.0%



日本・円
97.0%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

純資産等

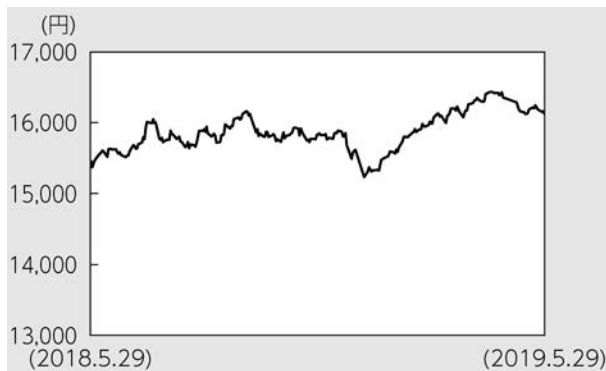
項目	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末	第196期末	第197期末
	2019年6月17日	2019年7月16日	2019年8月15日	2019年9月17日	2019年10月15日	2019年11月15日
純資産総額	1,933,720,429円	1,928,084,906円	1,908,368,449円	1,903,732,561円	1,905,771,525円	1,896,891,486円
受益権総口数	2,854,730,290口	2,837,006,096口	2,814,464,637口	2,792,910,747口	2,774,854,646口	2,757,479,969口
1万口当たり基準価額	6,774円	6,796円	6,781円	6,816円	6,868円	6,879円

(注) 当作成期間(第192期~第197期)中における追加設定元本額は240,307円、同解約元本額は119,316,810円です。

組入ファンドの概要

【海外投資適格社債マザーファンド】（計算期間 2018年5月30日～2019年5月29日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

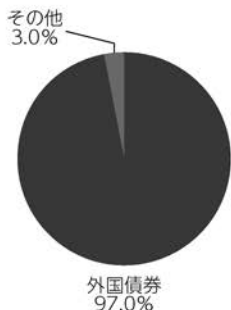
銘柄名	通貨	比率
JPMORGAN CHASE & CO 3.9 07/15/25	アメリカ・ドル	3.0%
SACRAMENTO MUD-W 6.156 05/15/36	アメリカ・ドル	2.7
CA TXB-VAR PURP 7.55 04/01/39	アメリカ・ドル	2.5
WALMART INC 3.3 04/22/24	アメリカ・ドル	2.4
ELECTRICITE DE FRANCE SA 6.95 01/26/39	アメリカ・ドル	2.3
COMCAST CORP 3.375 08/15/25	アメリカ・ドル	2.2
MICROSOFT CORP 4.1 02/06/37	アメリカ・ドル	2.2
SINOPEC CAPITAL 2013 LTD 3.125 04/24/23	アメリカ・ドル	2.0
EMIRATES TELECOM GROUP 2.375 06/18/19	アメリカ・ドル	2.0
HOME DEPOT INC 3.0 04/01/26	アメリカ・ドル	2.0
組入銘柄数		66銘柄

◆1万口当たりの費用明細

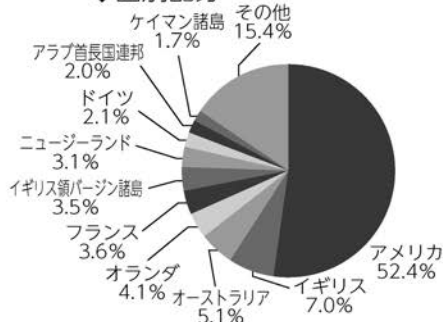
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	10円	0.061%
(その他)	(9)	(0.060)
	(0)	(0.001)
合計	10	0.061

期中の平均基準価額は15,853円です。

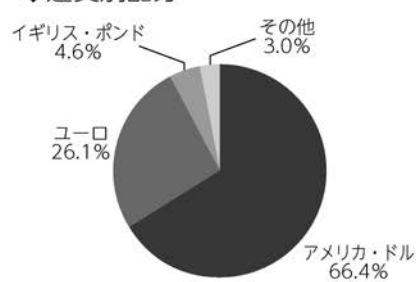
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

- FTSE世界BIG債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）
FTSE世界BIG債券インデックス社債セクター（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要市場をカバーする投資適格債インデックスの社債セクターです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。